

平成 29 年度 北海道文化財年報



「ホベツアラキリュウ化石」



「厳島神社本殿」



「厳島神社奉納絵馬」 (ガラス絵「源頼光図」)

平成 30 年 7 月

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。北海道教育委員会では、文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や多様な情報の発信などを通して、文化財の保存・活用に取り組んでいます。

この年報では、「旧双葉幼稚園園舎」、「様似山道」、「猿留山道」、「松前神楽」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報を御活用いただき、文化財をより身近に感じていただければ幸いです。

●この文化財年報に関するお問合せ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

表紙の写真3点は、道が平成29年9月29日に指定した天然記念物「ホベツアラキリュウ化石」と平成30年3月30日に指定した有形文化財（建造物・美術工芸品）「巖島神社本殿」と「巖島神社奉納絵馬」です。

○「ホベツアラキリュウ化石」

むかわ町穂別地域に分布する白亜系蝦夷層群の地層から発掘された、全長8mの長頸竜のまとまった化石で、蝦夷層群における生態系解明に大きく貢献し、学術的価値は高く評価されています。

○「巖島神社本殿」

明治34年に建立され、屋根は正面に唐破風を付けた入母屋で、本殿は創建当初の建築形態を伝えています。越後の工人による豊かな装飾が特徴であり、道北地方を代表する歴史的価値が高い社殿です。

○「巖島神社奉納絵馬」(写真は指定された7点のうちの1枚：ガラス絵「源頼光図」絵馬)

近世後半から近代に制作奉納された大絵馬で、画題は航海安全や豊漁等を祈願する主題が選ばれています。金地金雲を施した詳細緻密に描写される着色画の良品で、道内を代表する絵馬の作品群であり、ひいては近世絵画の作品群であるといえるものです。

目 次

I 平成29年度文化財保護の主なあゆみ

1	新たに指定・登録された文化財	P 2
	(1) 国指定文化財	P 3
	(2) 道指定文化財	P 8
	(3) 国登録文化財	P 12
2	世界遺産登録を目指して	P 15
	(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について	
	(2) 4道県共通ホームページの作成について	P 16
	(3) 北海道の独自事業について	
	(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	P 17
3	日本遺産 (Japan Heritage) について	P 18
4	ほっかいどう民俗芸能振興事業について	P 20
5	北海道文化財保護強調月間について	P 21
6	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 23
	(1) アイヌ民俗文化財調査事業	
	(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業	
7	指定文化財の保存整備(国庫補助事業)	P 24
	(1) 重要文化財	
	(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観	P 28
	(3) 史跡・名勝・天然記念物	P 29
8	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 32
9	埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)	P 34
10	発掘調査	P 36

II 資料編

1 文化財

- (1) 文化財の指定状況(国指定・道指定) P 37
- (2) 国指定・選定文化財一覧 P 38
- (3) 道指定文化財一覧 P 45
- (4) 管内別市町村指定等文化財一覧 P 50
- (5) 管内別登録文化財
- (6) 登録文化財一覧 P 51
- (7) 平成 29 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧 P 55
- (8) 平成 29 年度文化財パトロール P 63
- (9) 平成 29 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数
- (10) 平成 29 年度銃砲刀剣類の登録状況

2 埋蔵文化財

- (1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧 P 64
- (2) 平成 29 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と
北海道実施の所在・試掘調査一覧 P 65
- (3) 平成 29 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧
- (4) 平成 29 年度管内別発掘調査一覧
- (5) 平成 29 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数 P 66
- (6) 平成 29 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等
- (7) 平成 29 年度出土文化財認定件数と出土遺物量
- (8) 平成 29 年度出土文化財譲与件数

3 その他

- (1) 北海道教育推進計画 P 67
- (2) 平成 29 年度北海道文化財保護審議会 P 68
- (3) 北海道文化財保護審議委員一覧
- (4) 平成 29 年度銃砲刀剣類登録審査会 P 69
- (5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員
- (6) 北海道立埋蔵文化財センター
- (7) 平成 29 年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会 P 70
- (8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧
- (9) 文化財情報の発信 P 72
- (10) 文化財関係機関・団体リンク

I 平成 29 年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(国指定・道指定・国登録)の文化財

国指定では、帯広市の「旧双葉幼稚園園舎」が重要文化財(建造物)、様似町の「様似山道」及びえりも町の「猿留山道」が史跡、「松前神楽」が重要無形民俗文化財にそれぞれ指定されました。

道指定では、むかわ町の「ホベツアラキリュウ化石」が天然記念物、増毛町の「厳島神社本殿」が有形文化財(建造物)、「厳島神社奉納絵馬」が有形文化財(美術工芸品)に指定されました。

登録文化財では、帯広市の「宮本商産旧本社ビル」、上士幌町の「旧国鉄士幌線糠平橋梁」「旧国鉄士幌線三の沢橋梁」「旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム」が国の登録有形文化財に登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成 21 年 1 月 5 日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4 道県と関係 14 市町は、世界遺産登録をめざし、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを行いました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関 5 者と共同で、平成 20 年度から毎年 10 月 8 日～11 月 7 日を北海道文化財保護強調月間に設定しています。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成 29 年度は期間中に、86 市町村で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座・シンポジウム等文化財に関するイベント 239 事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承

^{かんなり}金成マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会などを実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村が主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を 41 件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う 138 件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は 66 件が実施されました。

1 新たに指定・登録された文化財

国指定重要文化財（建造物）1件、史跡2件、重要無形民俗文化財1件、道指定では有形文化財2件（建造物1件、美術工芸品1件）、天然記念物1件があり、国登録は登録有形文化財（建造物）が4件ありました。

（1）国指定文化財

- 重要文化財（建造物）〔平成29年7月31日付け〕
「旧双葉幼稚園園舎」（帯広市）
- 史跡〔平成30年2月13日付け〕
「様似山道」（様似町）
「猿留山道」（えりも町）
- 重要無形民俗文化財〔平成30年3月8日付け〕
「松前神楽」

（2）道指定文化財

- 天然記念物〔平成29年9月29日付け〕
「ホベツアラキリュウ化石」（むかわ町）
- 有形文化財（建造物）〔平成30年3月30日付け〕
「巖島神社本殿」（増毛町）
- 有形文化財（美術工芸品）〔平成30年3月30日付け〕
「巖島神社奉納絵馬」（増毛町）

（3）国登録文化財

- 登録有形文化財（建造物）〔平成29年6月28日付け〕
「宮本商産旧本社ビル」（帯広市）
「旧国鉄士幌線糠平橋梁」（上士幌町）
「旧国鉄士幌線三の沢橋梁」（上士幌町）
「旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム」（上士幌町）

[道指定有形文化財（建造物）]
巖島神社本殿（増毛町）

[道指定有形文化財（美術工芸品）]
巖島神社奉納絵馬（増毛町）

[国指定重要無形民俗文化財]
松前神楽

[道指定天然記念物]
ホベツアラキリュウ化石
（むかわ町）

[国指定史跡]
猿留山道（えりも町）

[登録有形文化財（建造物）]

旧国鉄士幌線糠平橋梁（上士幌町）
旧国鉄士幌線三の沢橋梁（上士幌町）
旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム
（上士幌町）

[国指定重要文化財（建造物）]
・ 旧双葉幼稚園園舎（帯広市）
[登録有形文化財（建造物）]
・ 宮本商産旧本社ビル（帯広市）

[国指定史跡]
様似山道（様似町）

(1) 国指定文化財

① 重要文化財（建造物）

「旧双葉幼稚園園舎」（きゅうふたばようちえんえんしゃ）

【指定日】平成 29 年 7 月 31 日

【所在地】帯広市東 4 条南 10 丁目 9 番地

【員 数】1 棟

【年 代】大正 11 年

【解 説】旧双葉幼稚園園舎は、大正 11 年（1922）に、当時の保育者臼田梅の考案をもとに建てられたとされる木造園舎です。正方形平面の園舎の中央に八角形平面の遊戯室を置き、その四方に保育室を接続しています。遊戯室は、周囲に高窓を設けた天井の高い吹き抜け空間とし、ドーム屋根をのせています。

旧双葉幼稚園園舎は、近代における幼稚園園舎の基本計画のひとつである遊戯室中心の平面をもち、大正期に建てられた園舎として希少です。またその外観は、球形、四角形、三角形などの基本図形を用いた明快かつ独創的な意匠でまとめており、わが国における幼稚園建築の発展を理解する上で、高い価値を有しています。



旧双葉幼稚園園舎

② 史跡

「様似山道」(さまにさんどう)

【指定日】平成30年2月13日

【指定内容】面積4,373.72㎡(延長4,510.49m)

【所在地】様似町字冬島、字幌満

【解説】18世紀後半、江戸幕府は、ロシアの南下政策に対して北方警備を強化するため、東蝦夷地を直轄化し、悪天候になると通行が困難な海沿いの道に代わって、様似山道と猿留山道を開削しました。

様似山道は伊能忠敬や松浦武四郎、榎本武揚といった著名人が通行し、植物学者宮部金吾がサマニカラマツを発見したことで知られていますが、昭和2年には沿岸道路ができたことで利用者は激減しました。

平成27年からの様似町教育委員会による調査で、全長7.12kmのうち、4.51kmの区間については保存状態が良好であることが明らかになりました。道幅は0.9m程で、いくつもの沢を越えます。途中には明治6年から同18年まで営業していた原田宿の跡があり、発掘調査により建物の礎石や炉跡が見つかりました。

様似山道は、幕府の東蝦夷地経営のあり方や北海道における交通制度のあり方を知る上で重要であることから、国の史跡に指定されました。



様似山道

原田宿跡

「猿留山道」(さるるさんどう)

【指定日】平成30年2月13日

【指定内容】面積5,709.77㎡(延長6,327.39m)

【所在地】えりも町字庶野、字目黒

【解説】様似山道同様に、悪天候になると通行が困難になる海沿いの道に代わって、江戸幕府により開削されました。

猿留山道は伊能忠敬や松浦武四郎の記録のほか、蝦夷三官寺のひとつである厚岸の国泰寺の僧侶の日記や箱館奉行村垣範正の蝦夷地巡見の記録などにも記述があります。また、沼見峠には江戸時代に建立された石造物が現存しています。明治18年(1885)に海岸寄りに新しい猿留山道がつけられたことで一部が使われ

なくなり、昭和9年に幌泉（えりも町庶野）から広尾までの海岸道路が完成して、猿留山道の利用は減少しました。

平成27年からのえりも町教育委員会による調査で、全長29.5kmのうち、6.32kmの区間（道有林）については保存状態が良好であることが明らかになりました。道幅は0.9m程で、豊似岳の山麓を通ります。

猿留山道は、幕府の東蝦夷地経営のあり方や北海道における交通制度のあり方を知る上で重要であることから、国の史跡に指定されました。



猿留山道



沼見峠にある江戸時代の石造物

③ 重要無形民俗文化財

「松前神楽」(まつまえかぐら)

【指定日】平成30年3月8日

【所在地】函館市、小樽市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、今金町、せたな町、島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、泊村、神恵内村、仁木町、小平町

【保護団体】松前神楽北海道連合保存会

松前神楽函館連合保存会、松前神楽小樽ブロック保存会、
松前神楽松前ブロック保存会、福島町松前神楽保存会

【公開期日】各神社の例祭日ほか

【解説】北海道南部で神職が中心となって伝承する神楽で、直面の採物舞をはじめ、巫女舞、湯立神事、獅子舞、さらに仮面の翁舞等、多彩な演目を伝え、太鼓や龍笛、手平鉦の演奏にのせ、一間四方を舞の場として演じられます。

松前神楽の起源は明らかではありませんが、延宝2年(1674年)に初めて福山城内で湯立神楽が行われたとの記録があり、また、松前藩主が寄進した獅子頭も現存します。

このように松前神楽は松前藩との深い関わりのもとで行われていましたが、現在では、渡島地方を中心に、檜山地方や後志地方、さらに留萌地方の小平町にも伝承され、各地の約120に及ぶ神社の例祭や新年祭、船魂祭等において神社拝殿で演じられるほか、厄除け祈願や新築祝い等の依頼に応じて個人宅でも行われます。また、新年の門祓いとして地区の家々を巡って獅子が舞うこともあります。

【問合せ先】松前神楽北海道連合保存会事務局(小樽市教育委員会生涯学習課)

電話:(代表)0134-32-4111(内線531)

舞の様子



とりものまい さかきまい
「採物舞」*写真は「榊舞」

しらふ
(平成28年白符大神宮(福島町))



^{みこまい}
「巫女舞」 * 写真は「鈴上舞」
^{すずあげまい}
(平成 27 年巖島神社 (神恵内村))



^{ゆたてしんじ}
「湯立神事」
^{おおひ}
(平成 27 年意富比神社 (北斗市))



「獅子舞」
(平成 26 年松前神社 (松前町))

(2) 道指定文化財

① 天然記念物

「ホベツアラキリュウ化石」(ほべつあらかきりゅうかせき)

【指定日】平成29年9月29日

【所在地】勇払郡むかわ町穂別80番地6(むかわ町穂別博物館)

【員数】化石440点(歯1点、椎骨46点(頸椎10・胴椎34・仙椎2)、肋骨93点、肩帯7点、腰帯6点、肢骨30点、指骨82点、胃石4点、骨片171点)

【解説】むかわ町穂別地域では、主に白亜紀の海で堆積した地層である白亜系蝦夷層群が分布しており、当時の海に棲息していた生物が化石として多く発見されています。

ホベツアラキリュウ化石は、昭和50年に旧穂別町在住の荒木新太郎氏により最初の部位が発見され、昭和52年に残りの部位が採集されました。その後、長頸竜として平成元年に日本で最初に古生物学的記載(骨学的特徴を記した論文発表)がなされました。産出した地層の年代は後期白亜紀の一時期にあたる約8,300万～8,100万年前で、この地層の海棲大型爬虫類のまとまった化石として、蝦夷層群における生態系解明に大きく貢献し、学術的価値は高く評価されています。

また、住民が発見した化石を地元で保管し研究することを目的とした町立博物館設立の契機となっただけでなく、ホベツアラキリュウの愛称ホッピーを用いた施設や団体が複数あるなど、化石の町、むかわ町穂別の象徴として町民に親しまれていることから、重要な化石です。



ホベツアラキリュウ化石復元骨格



生体復元想像図(むかわ町穂別博物館提供)

② 有形文化財（建造物）

「巖島神社本殿」（いつくしまじんじゃほんでん）

【指定日】平成 30 年 3 月 30 日

【所在地】増毛郡増毛町稲葉町 3 丁目 38 番地

【員 数】1 棟

【年 代】明治 34 年（1901 年）

【解 説】巖島神社本殿は明治 34 年（1901）に建てられた、組物と彫刻で豊かに装飾された社殿です。屋根は正面に唐破風（からはふ）を付けた入母屋（いりもや）で、本殿は創建以来、覆屋で保護されてきたため極めて良好な状態で、創建当初の建築形態を伝えています。これを手掛けた棟梁、彫刻師らは越後（新潟県）から来訪し、函館の高龍寺本堂（明治 32 年（1899）築）の建築にも携わっています。

巖島神社本殿は越後の工人による豊かな装飾が特徴であり、道北地方を代表する歴史的価値が高い社殿です。

本殿正面



③ 有形文化財（美術工芸品）

「厳島神社奉納絵馬」（いつくしまじんじゃほうのうえま）

【指定日】平成30年3月30日

【所在地】増毛郡増毛町稲葉町3丁目38番地

【員数】7点

NO.	名称	面数	奉納年	作者
1	ガラス絵「源頼光図」絵馬	1	文久2年(1862年)	芳斎
2	板絵着色「富士巻狩図」絵馬	1	文化9年(1812年)	不詳
3	板絵着色「巴御前武勇図」絵馬	1	文化10年(1813年)	昇亭北寿
4	板絵着色「浦島図」絵馬	1	嘉永5年(1852年)	谷文中
5	板絵着色「神功皇后図」絵馬	1	嘉永5年(1852年)	谷文中
6	板絵着色「文禄慶長役図」絵馬	1	万延2年(1861年)	蘆淵
7	絹本着色「天塩国増毛郡秋味大漁図」絵馬	1	明治10年(1877年)	立斎広重

【解説】厳島神社（増毛町）の奉納絵馬7点は、近世後半～近代（19世紀初めから半ば）に製作奉納された、いずれも100cm×170cm程の規格の、いわゆる「大絵馬（おおえま）」です。

画題には、当時の大絵馬に好まれた、航海安全や豊漁等を祈願する奉納にふさわしい主題が選ばれています。

技法は、金地金雲（きんじきんうん）を施し良質の岩絵具や金泥（こんでい）等による濃彩（のうさい）を用いて、詳細緻密に描写される着色画の良品です。

うち「ガラス絵」1点が含まれますが、この規模と質の高さはきわめて希少な作例です。

保存状態は、現状全面にガラスが貼られる額に収められ、拝殿屋内に掲げられていることもあり、比較的良好です。

また、ほとんどが、作者、奉納者や奉納年代が判明し、江戸等での製作が想定される等、他地域との交流をも考察できます。

このように、近世後半から近代初めのガラス絵を含む大絵馬が、いずれも絵画としての質が高く、作者や奉納年代も判明して、保存状態もよくまとまって伝来していることは、北海道内はもとより全国的にも例の少ない貴重なものです。

質、量ともに、道内を代表する絵馬の作品群であり、ひいては近世絵画の作品群であるといえます。

1 ガラス絵「源頼光図」絵馬



2 板絵着色「富士巻狩図」絵馬



3 板絵着色「巴御前武勇図」絵馬



4 板絵着色「浦島図」絵馬



5 板絵着色「神功皇后図」絵馬



6 板絵着色「文禄慶長役図」絵馬



7 絹本着色「天塩国増毛郡秋味大漁図」絵馬



(3) 国登録文化財

① 有形文化財（建造物）

「宮本商産旧本社ビル」（みやもとしょうさんきゅうほんしゃびる）

【登録日】平成 29 年 6 月 28 日

【年 代】大正 8 年

【所在地】帯広市西 2 条南 5 丁目 1 他

【解 説】帯広駅前通りの角地に建つ木骨煉瓦造 2 階建の社屋で、外観の特徴として、東正面は煉瓦タイル貼とし、二層分の柱型を配して花崗岩の帯を廻らせています。壁頂にコーニス（屋根直下の水平方向の装飾）とデンティル（軒下の歯形飾り）を廻らし、正面中央にペディメント（三角の装飾）を飾るなど、重厚な趣を見せています。戦前の帯広の繁栄を伝える良質な事務所建築です。



（帯広市教育委員会提供）

【問合せ先】帯広市教育委員会生涯学習部文化課 電話：0155-65-4209

ホームページ：

http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shougaigakusyubu/bunnkaka/sitei_bunkazai.html

「旧国鉄士幌線糠平川橋梁」(きゅうこくてつしほろせんぬかびらがわきょうりょう)

【登録日】平成 29 年 6 月 28 日

【年 代】昭和 30 年

【所在地】河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷 13 番他

【解 説】昭和 30 年の旧国鉄士幌線付け替えに伴い、糠平湖に注ぐ糠平川河口に架設されたコンクリート造 4 連アーチ橋です。橋長 74 メートルの弓なり平面で、15 メートルアーチ 3 連と、10 メートルアーチ 1 連からなっています。長大アーチを連ねる構造で、雄大な景観を形成しています。



(上士幌町教育委員会提供)

【問合せ先】上士幌町教育委員会生涯学習課 電話：01564-2-3024

「旧国鉄士幌線三の沢橋梁」(きゅうこくてつしほろせんさんのさわきょうりょう)

【登録日】平成 29 年 6 月 28 日

【年 代】昭和 30 年

【所在地】河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷 18 番他

【解 説】昭和 30 年の旧国鉄士幌線付け替えに伴い、糠平湖に注ぐ三の沢に架設されたコンクリート造 3 連アーチ橋です。橋長 50 メートルで、河川横断部の 15 メートルアーチ、前後の 10 メートルアーチからなっています。左右対称にアーチを連ね、湖畔の景観に寄与しています。



(上士幌町教育委員会提供)

【問合せ先】上士幌町教育委員会生涯学習課 電話：01564-2-3024

「旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム」（きゅうこくてつしほろせんほろかえきプラットホーム）

【登録日】平成 29 年 6 月 28 日

【年 代】昭和 14 年

【所在地】河東郡上士幌町字幌加 2 番の 7

【解 説】旧幌加駅は昭和 14 年の旧国鉄士幌線延伸時に設けられた駅で、山間の平坦地に位置しています。プラットホームは延長 61 メートル、幅 2.3 メートル、高さ 0.8 メートル規模のコンクリート造で、両端が斜路となっています。往時の賑わいを伝える鉄道遺構です。



（上士幌町教育委員会提供）

【問合せ先】上士幌町教育委員会生涯学習課 電話：01564-2-3024

2 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行っています。

平成 29 年度については、「推進本部」として目標としていた平成 29 年度のユネスコへの推薦は、見送られることとなりましたが、縄文遺跡群世界遺産登録推進議員連盟及び縄文遺跡群世界遺産登録推進本部が、平成 29 年 4 月 26 日に文部科学大臣並びに文化庁長官に対し要望活動を行うなど、登録の推進に向け精力的な活動を行いました。

(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について

「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が世界遺産登録に向けて行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書原案」を平成 25 年 7 月に文化庁へ提出しましたが、同年 8 月の文化審議会の特別委員会において、推薦を得ることはできませんでした。

その後、文化審議会から示された諸課題について、国内外の専門家の助言を得ながら、推薦内容の精度を高め、課題を整理した「世界遺産登録推薦書素案」を平成 30 年 3 月に文化庁へ提出しています。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があり、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれの事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 29 年度には推進会議を 2 回、専門家委員会を 1 回開催し、協議を進めました。

また、平成 29 年 12 月に札幌市(北海道)、平成 30 年 1 月に東京で「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、多くの方に参加いた

だき、人類史における縄文遺跡群の価値、北海道・北東北の縄文遺跡群の特徴などをテーマに講演・説明を行いました。

◆縄文世界遺産登録推進フォーラム「ここがすごい北海道・北東北の縄文遺跡群」

○世界遺産登録推進フォーラム札幌会場



(2) 4道県共通ホームページの作成について

平成25年8月30日に、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的に、4道県共通ホームページを開設しました。

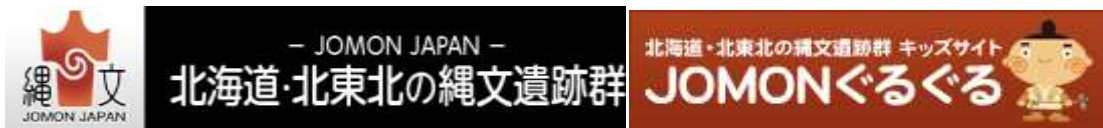
また、平成26年3月31日には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」を開設しています。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」

ホームページ：<https://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」

ホームページ：<https://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成14年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成16年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の3県とともに進めてきました。

暫定一覧表への記載はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成23年度には、世界遺産の登録を推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っています。

7月に「縄文夏まつり」を札幌駅前通地下歩行空間で、2月に北海道庁赤レンガ庁舎で「縄文雪まつり」を開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますので、御参照ください。

○縄文夏まつり会場



○縄文雪まつり会場



◆「縄文夏まつり」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2017natumaturi.htm>

◆「縄文雪まつり」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2018yukimatsuri.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成19年9月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内の「暫定一覧表記載資産の追加について」などを御覧ください。

ホームページ：http://bunka.nii.ac.jp/special_content/hlink14

3 日本遺産(Japan Heritage)について

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを国が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

道内の日本遺産 (Japan Heritage) 認定概要

[平成 29 年度認定]

① 江差町

《江差の五月は江戸にもない ―ニシン繁栄が息づく町―》

(ストーリーの概要)

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りに、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。

この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の取引によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。

ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。



「ニシンによる繁栄が息づく江差の町並み」

- ② 酒田市（山形県）・函館市・松前町（北海道）・鱒ヶ沢町・深浦町（青森県）、
秋田市（秋田県）・新潟市・長岡市（新潟県）・加賀市（石川県）・敦賀市・南
越前町（福井県）

《荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落》

（ストーリーの概要）

日本海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。

また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



「函館山」



「松前屏風」

4 ほっかいどう民俗芸能振興事業について

道内各地で民俗芸能に取り組んでいる子どもたちに発表の機会を提供することにより、地域の文化への興味関心や郷土愛を育むとともに、次代を担う後継者の育成や民俗芸能の普及振興を図ることを目的に平成27～29年度の3年間、全道4つのブロックで、民俗芸能の伝承講座を受講した子どもたちが、習得した民俗芸能を発表する成果発表会を開催しました。

(1) 平成27～28年度実施事業 「成果発表会」

年 度	ブロック	会 場	出 演 団 体
平成27年	道南	森町	江良八幡神社杵振舞（松前町）、江差追分踊り（江差町）、勇払千人隊御会所太鼓（苫小牧市）、襟裳神楽（えりも町）
平成28年	道央	札幌市	峰延獅子舞（美唄市）、恵庭岳太鼓（恵庭市）、松前神楽（小樽市）

(2) 平成29年度成果発表会

<道北ブロック>

□期 日：平成29年11月11日（土）13時00分～

□会 場：東川町（東川町農村環境改善センター）

□演 目：越中躍り（東川町）、岩戸神楽（留萌市）、南浜獅子神楽（利尻富士町）
豊郷神楽（網走市）

<道東ブロック>

□期 日：平成29年11月18日（土）10時30分～

□会 場：帯広市（帯広畜産大学講堂）

□演 目：白蛇姫舞（鹿追町）、大正宮神楽（帯広市）、寿子ども蝦夷太鼓（釧路市）、釧路鳥取傘踊り（釧路市）、厚床獅子舞（根室市）



大正宮神楽

芸能の様子



南浜獅子神楽



豊郷神楽



越中躍り



寿子ども蝦夷太鼓

5 北海道文化財保護強調月間について

平成 20 年度に、北海道教育委員会、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会及び北海道博物館協会の 6 者は共同で、毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、「北海道文化財保護強調月間」として設定しました。

期間中には、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施しています。

平成 29 年度は、第 10 回目として、85 市町村で展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベント 239 事業が実施されました。

なお、第 10 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、道内から初めて認定された日本遺産の写真を掲載し、文化財の保存と活用の啓発に努めました。

今後も、市町村教育委員会等の協力を得ながら、様々な形で、児童・生徒の皆さん、そして、広く道民の方々が文化財を身近に感じ、親しんでいただく機会の提供に取り組めます。

・文化財保護強調月間ホームページ

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち 6 団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成 20 年 7 月 17 日

○北海道文化財保護強調月間ポスター



○上ノ国町「上ノ国昔踊りの公開」

H29. 11. 5

○せたな町 平成 29 年度特別展

「せたな発掘ものがたり
～豊岡 6 遺跡編～」

H29. 10. 3～10. 29



6 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査事業

アイヌ民俗文化財に係る調査等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に係る道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配付し、活用を図りました。

[金成マツノート整理・翻訳、刊行]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ 58

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「小さな狸の皮衣（1）」』

萱野志朗 訳

- ・ユーカラシリーズ 59

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「女のユーカラ 鳥のさえざり（1）」』

切替英雄、高橋靖以 訳

- ・ユーカラシリーズ 60

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「ススランベチ（1）」』

蓮池悦子 訳

[平成29年度アイヌ民俗文化財調査報告書]

アイヌの人たちが祖先から伝承してきた生活や生産業に関する民俗技術について、テーマを設定して調査を実施し、報告書を刊行しました。

- ・産育に関する民俗技術 2 藤村久和、花輪陽平 著

(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

また、専門職員等を対象に研修会を開催しました。

- ① アイヌ民俗技術伝承講座：道内5会場
(延べ60講座、延べ参加人員537人)
- ② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内5会場
(延べ40講座、延べ参加人員402人)
- ③ アイヌ文化財専門職員等研修会
(会場：札幌、参加人員：66人)



トンコリ演奏練習風景

7 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保存整備等を図るため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

● 建造物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (建造物)	旧函館区公会堂	旧函館区公会堂は明治39年(1906)に集会所等として工事費の大半を豪商相馬哲平の寄付により建てられました。2階のバルコニーからの絶景と和と洋が融合した優れた意匠で観光客に人気が高い建造物です。平成29年度は建物の構造調査、耐震診断書を経て保存活用計画などの耐震補強工事に向けた準備を進めました。	函 館 市
重要文化財 (建造物)	旧 下 ヨ イ チ 運 上 家	旧下ヨイチ運上家は嘉永6年(1853)に建てられたもので、現存する唯一の運上家であり、幕藩体制下の蝦夷地経営を知るうえで貴重な遺構です。平成29年度は、建物の構造体調査、地盤調査、構造診断などの耐震診断業務を実施しました。	余 市 町
重要文化財 (建造物)	旧 網 走 監 獄 旧網走刑務所二 見ヶ岡刑務支所 (二見ヶ岡農場)	旧網走監獄は明治23年(1890)に網走囚徒外役所として設置され、明治期の木造監獄建築の数少ない遺例として重要なものです。 二見ヶ岡刑務支所は明治29年(1896)に開設され、全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、歴史的に高い価値があります。 平成29年度は、建物の耐震診断を行うに当たって構造調査、地盤調査、構造診断を実施しました。	公益財 団法人 網走監 獄保存 財団
重要文化財 (建造物)	函館ハリストス 正教会復活聖堂	函館ハリストス教会復活聖堂は大正5年(1916)に建てられ、日本ハリストス正教会発祥の地に建つ由緒をもち、小規模ながら正教会復活聖堂の標準的な構成によるレンガ造の本格建築です。 平成29年度は、建物の耐震診断を行うに当たって構造調査、地盤調査、構造診断等を実施しました。	宗教法 人ハリ ストス 正教会

○重要文化財「旧函館区公会堂」（函館市）



○重要文化財「旧下ヨイチ運上家」（余市町）



写真提供：余市町教育委員会

○重要文化財「旧網走監獄、旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）」（網走市）



（旧網走監獄）



（二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場））

○重要文化財「函館ハリストス正教会復活聖堂」（函館市）



● 美術工芸品

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (考古資料)	北海道上之國 勝山館跡出土品	北海道上之國勝山館跡出土品は、15～16世紀（室町時代～安土・桃山時代）の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。 平成26年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存台及び保存箱の製作を行っています。	上ノ国町
重要文化財 (考古資料)	北海道船泊遺跡 出 土 品	縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地、及び作業場跡等から出土した副葬品で、とりわけ貝製品には、房総半島以南のタカラ貝など、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれ、当時の広域な物資交易をよく示す、貴重な資料となっています。 平成26年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業を行っています。	礼 文 町
重要文化財 (歴史資料)	開 拓 使 文 書	開拓使文書は、開拓使札幌本庁、その前身の箱館府等において、作成、収受、編綴された近代行政文書であり、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での貴重な資料です。 平成27年度から35年度の9年間の計画で、破損した原本の保存修理事業を行っています。	北 海 道

○重要文化財「北海道上之國勝山館跡出土品」（上ノ国町）



○重要文化財「北海道船泊遺跡出土品」(礼文町)



貝平玉

○重要文化財「開拓使文書」(北海道)



(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区	<p>函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。</p> <p>この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。</p> <p>平成 29 年度は、遺愛幼稚園主屋修理事業など4件の修理事業を実施しました。</p>	函館市
重要文化的景観	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	<p>「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。</p> <p>平成 29 年度は、追加選定に向けた調査や意識の高揚を目的とした普及啓発事業を行いました。</p>	平取町

○函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区（函館市）



遺愛幼稚園主屋

○沙流川流域の文化的景観（平取町）



チㇰサンケ（舟下ろしの儀式）

(3) 史跡・名勝・天然記念物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
特別史跡	五 稜 郭 跡	<p>五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が融合した特色ある城郭です。</p> <p>平成 29 年度は、石垣定点調査とアカマツの保全整備を実施しました。</p>	函 館 市
史 跡	松 前 氏 城 跡 福 山 城 跡 館 城 跡 の うち 福 山 城 跡	<p>福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。</p> <p>平成 29 年度は二ノ丸地区の発掘調査と土坡復元工事を実施しました。</p>	松 前 町
史 跡	旧 奥 行 白 駅 通 所	<p>旧奥行白駅通所は明治 43 年(1910)から昭和 5 年までの間、人馬の継ぎ立てと宿泊、物資の運送等の便宜を図った施設で、主屋 1 棟、馬屋 2 棟、倉庫 1 棟が現存しています。</p> <p>平成 29 年度は、主屋の保存修理と基礎部分の発掘調査を実施しました。</p>	別 海 町
史 跡	入 江 ・ 高 砂 貝 塚	<p>入江・高砂貝塚は噴火湾を望む台地上に隣接して位置し、当時の生業、縄文人の形質や葬法などを知る上で重要な貝塚です。</p> <p>平成 29 年度は、園路整備を実施しました。</p>	洞 爺 湖 町
史 跡	常 呂 遺 跡	<p>常呂遺跡は、常呂川河口付近からサロマ湖東岸に及ぶ広大な遺跡で、地表に窪みとして残る竪穴住居跡は 2,700 ヶ所を超え、独特の景観を作り出しています。</p> <p>平成 29 年度は、竪穴住居 1 軒を復元し、講演会、見学会を開催しました。</p>	北 見 市
史 跡	カ リ ン バ 遺 跡	<p>カリンバ遺跡は、縄文時代の大きな大規模な墓地で、漆製品等の豊富な副葬品が出土しています。</p> <p>平成 29 年度は水文環境の調査を実施しました。</p>	恵 庭 市

史 跡	ピリカ遺跡	<p>ピリカ遺跡は、旧石器時代の代表的な遺跡で、出土した石器の変遷をたどることができ、焚火跡や石器製作跡の生活痕跡も良好に残っていました。</p> <p>平成 29 年度はガイダンス施設内部の展示を製作しました。</p>	今 金 町
史 跡	垣ノ島遺跡	<p>垣ノ島遺跡は、縄文時代に作られた南北 200m 東西 130m の「コ」の字形の盛り土が特徴的な遺跡です。</p> <p>平成 29 年度は史跡整備に向けて発掘調査や詳細な地形測量を実施しました。</p>	函 館 市
歴史の道	様似山道	<p>様似山道は、幕末のロシアの南下政策に対する幕府の北方警備強化を目的として、寛政 11 年(1799)に江戸幕府が整備した山道です。</p> <p>平成 29 年度は、老朽化した山道階段の修繕、現地での説明のための地形や原田宿の模型の製作を実施するとともに、様似山道セミナーを開催しました。</p>	様 似 町
史 跡 天然記念物	標津遺跡群 標津湿原	<p>史跡標津遺跡群・天然記念物標津湿原は遺跡と周囲自然環境を一体的に指定しています。標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡は、2,549 ヶ所の竪穴住居跡の窪みが地表面で確認でき、一万年に渡る人の営みが継続した結果残された遺跡です。天然記念物標津湿原は、ミズゴケを中心とする良好な高層湿原で多くの貴重な植物、昆虫 800 種以上、淡水魚等が生息しています。</p> <p>平成 29 年度は湿原の保全のためにササや外来植物を除去するとともに、見学用歩道の改修工事を実施しました。</p>	標 津 町
特別天然 記念物	阿寒湖のマリモ	<p>世界でここにしか残されていない大規模なマリモの群集ですが、水草が増え、生息環境の悪化が心配されています。</p> <p>平成 29 年度は、マリモとマリモの生育に悪影響を与えているといわれている水草の分布の関係について調査しました。</p>	釧 路 市

特別天然 記念物	アポイ岳高山植物 群落	アポイ岳は、日高山脈の南端付近の西海岸寄りに位置し、かんらん岩という特殊な土壌条件や、海霧や強風の影響等により、数多くの高山植物が生育しています。 平成 29 年度は、高山植物植生の回復を目指し、ハイマツの伐採実験や各種モニタリング調査等を実施しました。	様似町
-------------	----------------	--	-----



○奥行白駅通所主屋の保存修理と基礎部分の発掘調査

○修繕を終えた様似山道東入口階段を登る町民



○標津湿原の保全活動

8 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行ない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえで、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、12,300.545haについて所在調査を、158.225haについて試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）



⑤ 試掘調査（市町村・北海道教育委員会実施）



→
重機・スコップなどで地面を掘ってみます。掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



↓
昔の家（竪穴住居）やお墓の跡があるか調べます。（出土した土器 約 2000 年前のもの）
（中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡）

↓ → 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
（北海道教育委員会など）

- （1）現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- （2）発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- （3）工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- （4）慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。

↓
⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

9 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される7件の所在調査と25件の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡キウス周堤墓群周辺の状況を把握するために試掘調査を実施し、6号周堤墓の南側で周堤墓1基や縄文時代後期中葉の竪穴住居跡3軒・焼土遺構等を確認しました。	千歳市
埋蔵文化財	市内遺跡	苫東静川地区では試掘調査により縄文時代の遺跡2か所、続縄文時代の遺跡1か所を新たに発見し、亀谷遺跡の範囲を確定しました。植苗地区では試掘調査を実施しましたが、新たな遺跡は確認されませんでした。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	個人住宅及び住宅兼共同住宅建設に伴う発掘調査で、竪穴住居跡2軒、土壇17基、落とし穴9基等を確認しました。	江別市
埋蔵文化財	市内遺跡	個人住宅建設に伴って発掘調査を実施し、アイヌ文化期の平地住居跡1軒、縄文時代中期後半から後期前葉の竪穴建物跡3軒を検出しました。	恵庭市
埋蔵文化財	町内遺跡	町内で計画されている農業関連の開発行為に先立ち、所在調査87件、試掘調査4件を実施して縄文時代の遺跡1か所を新たに発見し、高野2遺跡の位置情報を変更しました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	オホーツク文化終末期の集落であるチャシコツ岬上遺跡で平成25～28年度に実施した発掘調査の成果をまとめた総括報告書を刊行しました。	斜里町
埋蔵文化財	町内遺跡	二ツ山遺跡の踏査・地形測量や鷲ノ木2台場跡の踏査・地形測量・試掘調査を実施し、縄文時代や続縄文文化期の遺構・遺物を確認しました。史跡鷲ノ木遺跡では環状列石の現況確認や列石の劣化防止措置を行いました。	森町
埋蔵文化財	町内遺跡	地すべりで一部が崩壊した春苜古丹第2チャシ跡の発掘調査では16世紀後半～18世紀前半と考えられる壕・土塁・柵跡を確認しました。チャシ跡と重複し、下位の層に位置するポン幌萌川右岸遺跡の調査ではトビニタイ文化期の土壇墓6基を検出し、墓の中から錫製環飾2点が出土しました。	羅臼町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	上ノ国市街地遺跡の出土遺物を対象に、分類・集計・遺物台帳の作成等の再整理を実施し、整理した出土品のガイドブックを作成しました。	上ノ国町

埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	千歳市埋蔵文化財センターで火起こしや土面・勾玉・縄文クッキー等の製作体験、市内の史跡を紹介する企画展を実施しました。北東北の縄文時代の史跡を紹介する公開講座を実施し、史跡キウス周堤墓群の解説パンフレットの再版、史跡ウサクマイC遺跡の順路案内板等の設置を行いました。	千歳市
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	史跡北黄金貝塚や各地の縄文遺跡を紹介する特別展・動物考古学セミナー・イベントを開催し、パンフレット等の広報資料を作成しました。伊達市噴火湾文化研究所内に埋蔵文化財センター機能を設けるための施設工事を行いました。	伊達市
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	遠軽町埋蔵文化財センターで黒曜石アクセサリーづくり等の体験学習会や講演会、企画展「マンモスが生きた大地」等を開催し、町内の学校やイベント会場等で石器づくりや勾玉づくり等の出前体験教室を実施しました。	遠軽町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	様似町中央公民館で町内の埋蔵文化財に関する特別展を実施し、関連事業として、講演会や勾玉・石器・トンボ玉作り・火起こし等の体験イベントを行いました。	様似町



○ 千歳市キウス13遺跡
縄文時代後期中葉の竪穴住居跡



○ 羅臼町ボン幌萌川右岸遺跡
トビニタイ文化期の土壇墓に伴う配石

10 発掘調査

平成 29 年度は北海道内で 63 件、43,157 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	33	25,830 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	12	15,527 m ²
大学・博物館等	18	1,800 m ²

また、平成 29 年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、御覧ください。

URLは次のとおりです。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h29gaiyou.htm>



○ 恵庭市
ユカンボシ E11 遺跡
竪穴建物跡

II 資料編

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

(平成30年3月31日現在)

区分	種別	地域を定めず	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保有	計
国指定	国宝							1										1
	重要文化財			15	3	3	1	14	5	1	2	2	3	2	2	1	5	59
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財			1				1										2
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	7	6	3	10	2		1		4	2	5	4		53
	名勝(*1)							1		1			1					3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
	小計	15	3	28	12	11	8	31	9	5	6	2	9	5	13	8	5	170
選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登録	有形文化財(建造物)		24	27	14	6	3	21	1	16		3	9	10	1	8		143
	記念物							1										1
	小計	0	24	27	14	6	3	22	1	16	0	3	9	10	1	8	0	144
道指定	有形文化財		4	8	5	5	2	33	9	1	4	3	4	4	2	3		87
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							1	5									6
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		5			2	1	2	1	1		5	5	7	1	4		34
	小計	0	10	10	8	9	5	41	19	4	4	10	15	15	4	7	0	161
合計	15	37	65	34	26	17	95	29	25	10	15	33	26	18	23	5	477	

※ 複数管内に所在が跨(また)がる物件については、主たる所在地がある管内にカウントしている。

(2) 国指定・選定文化財一覧

国指定・選定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、保護の対象として文部科学大臣が指定又は選定した文化財です。

〔国宝〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	考古資料	函館市	H19.6.8

〔重要文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	工 芸	札幌市	S8.1.23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	建 造 物	札幌市	S11.9.18
3	福山城（松前城）本丸御門	建 造 物	松前町	S16.5.8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	書跡・典籍	帯広市	S25.8.29
5	刀 無銘伝来国行	工 芸	札幌市	S31.6.28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）※東京国立博物館保管	考古資料	室蘭市	S37.6.21
7	豊平館	建 造 物	札幌市	S39.5.26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	彫 刻	函館市	S42.6.15
9	北海道庁旧本庁舎	建 造 物	札幌市	S44.3.12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	建 造 物	小樽市	S44.3.12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	建 造 物	札幌市	S44.8.19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	建 造 物	札幌市	S45.6.17
13	旧三戸部家住宅	建 造 物	伊達市	S46.12.28
14	旧花田家番屋	建 造 物	小平町	S46.12.28
15	旧下ヨイチ運上家	建 造 物	余市町	S46.12.28
16	旧中村家住宅	建 造 物	江差町	S46.12.28
17	太刀川家住宅店舗	建 造 物	函館市	S46.12.28
18	人形装飾異形注口土器(北海道上磯郡上磯町茂辺地出土) ※東京国立博物館保管	考古資料	北斗市	S48.6.6
19	旧函館区公会堂	建 造 物	函館市	S49.5.21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	考古資料	千歳市	S54.6.6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	建 造 物	函館市	S58.6.2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙 墓出土） ※国保有物件	考古資料	千歳市	S63.6.6
23	旧旭川偕行社	建 造 物	旭川市	H1.5.19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	建 造 物	札幌市	H1.5.19
25	北海道美利河1遺跡出土品	考古資料	今金町	H3.6.21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	考古資料	知内町	H3.6.21
27	龍雲院	建 造 物	松前町	H4.1.21
28	旧笹浪家住宅	建 造 物	上ノ国町	H4.1.21

29	正行寺本堂	建造物	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	建造物	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	建造物	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	考古資料	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	※国保有物件 考古資料	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	考古資料	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	考古資料	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	建造物	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	建造物	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	考古資料	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	建造物	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	※国保有物件 考古資料	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	歴史資料	札幌市	H16. 6. 8
43	北海道美々8遺跡出土品	考古資料	江別市	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	歴史資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澗院関係資料	歴史資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	歴史資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	考古資料	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	歴史資料	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	建造物	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館跡出土品	考古資料	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡群出土品	考古資料	遠軽町	H23. 6. 27
52	北海道船泊遺跡出土品	考古資料	礼文町	H25. 6. 19
53	旧開拓使工業局庁舎	建造物	札幌市	H25. 8. 7
54	開拓使文書	歴史資料	札幌市	H26. 8. 21
55	北海道松法川北岸遺跡出土品	考古資料	羅臼町	H27. 9. 4
56	旧網走監獄	建造物	網走市	H28. 2. 9
57	旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	建造物	網走市	H28. 2. 9
58	北海道豊原4遺跡土坑出土品	考古資料	函館市	H28. 8. 17
59	旧双葉幼稚園園舎	建造物	帯広市	H29. 7. 31

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21 追加指定 H6. 12. 21
2	松前神楽	函館市・小樽市・北斗市・松前町・知内町・木古内町 七飯町・鹿部町・森町・八雲町・長万部町・今金町 せたな町・島牧村・寿都町・黒松内町・蘭越町 喜茂別町・京極町・倶知安町・共和町・岩内町・泊村 神恵内村・仁木町・小平町	H30. 3. 8

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシヤマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡 松前氏城跡 福山城跡(追加指定) 館城跡(追加指定) 松前氏城跡 福山城跡(追加指定)	松前町 厚沢部町 松前町 厚沢部町 松前町	S10. 6. 7 H14. 9. 20 H25. 10. 17 H25. 10. 17 H27. 3. 10

ー	モシリヤ砦跡 (H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
ー	鶴ヶ岱チャランケ砦跡(H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
6	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
7	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
8	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
9	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
10	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
11	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
12	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
13	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
14	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
15	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
17	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
18	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
19	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23
20	標津遺跡群 伊茶仁カリカリス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
21	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
22	大館跡	松前町	S52. 4. 5
23	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
24	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
25	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
26	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
27	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
28	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
29	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
30	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
31	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
32	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
33	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
34	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
35	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
36	北黄金貝塚 北黄金貝塚(追加指定)	伊達市 伊達市	S62. 12. 25 H25. 10. 17

37	入江・高砂貝塚 入江・高砂貝塚(追加指定)	洞爺湖町 洞爺湖町	S63.5.13 H23.9.21
38	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63.5.17
39	白滝遺跡群	遠軽町	H1.1.9
40	ピリカ遺跡	今金町	H6.4.26
41	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9.3.11
42	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアツペツチャシ跡	新ひだか町・ 日高町	H9.12.2
43	江別古墳群	江別市	H10.9.11
44	大谷地貝塚	余市町	H12.11.20
45	大船遺跡	函館市	H13.8.13
46	カリンバ遺跡	恵庭市	H17.3.2
47	鷺ノ木遺跡 鷺ノ木遺跡(追加指定)	森町 森町	H18.1.26 H24.9.19
48	垣ノ島遺跡	函館市	H23.2.7
49	旧奥行臼駅通所	別海町	H23.9.21
50	釧路川流域チャシ跡群 (※モシリヤ砦跡、鶴ヶ岱チャランケ砦跡を統合するとともに周辺9 チャシを追加)	釧路市・釧路町・ 弟子屈町・標茶町	H27.3.17
51	旧歌棄佐藤家漁場	寿都町	H28.3.1
52	様似山道	様似町	H30.2.13
53	猿留山道	えりも町	H30.2.13

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13.12.14
2	旧岩船氏庭園(香雪園)	函館市	H13.8.13
3	ピリカノカ 九度山(クトゥンヌプリ)	名寄市	H21.7.23
	黄金山(ピンネタイオルシペ)	石狩市	H21.7.23
	神威岬(カムイエトゥ)	枝幸町・浜頓別町	H22.2.22
	襟裳岬(オンネエンルム)	えりも町	H22.8.5
	瞰望岩(インカルシ)	遠軽町	H23.2.7
	カムイチャシ	豊浦町	H23.2.7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24.1.24
	十勝幌尻岳(ポロシリ)	帯広市・中札内村	H24.9.19
	幌尻岳(ポロシリ)	新冠町・平取町	H25.10.17
オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	H26.3.18	

〔特別天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	植 物	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林	植 物	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落	植 物	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山	地質鉱物	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山	天然保護 区域	上川町・東川町・ 美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ	動 物	主な生息地北海道	S27. 3. 29

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	植 物	倶知安町・京極町・ 喜茂別町・真狩村・ ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	植 物	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落	植 物	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林	植 物	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯	植 物	厚沢部町	S 3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	動 物	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯	植 物	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地	動 物	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬	動 物	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地	動 物	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石	地質鉱物	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	植 物	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	植 物	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	動 物	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地	動 物	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマガラ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ	動 物	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ	動 物	主な生息地北海道	S42. 5. 2

26	釧路湿原	天然保護区域	標茶町・鶴居村・釧路町	S42.7.6
27	オジロワシ	動物	主な生息地北海道・新潟県	S45.1.23
28	オオワシ	動物	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45.1.23
29	沙流川源流原始林	天然保護区域	日高町	S45.12.4
30	エゾシマフクロウ	動物	主な生息地北海道	S46.5.19
31	コクガン	動物	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46.5.19
32	ヒシクイ	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46.6.28
33	マガン	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46.6.28
34	女満別湿生植物群落	植物	大空町	S47.6.14
35	松前小島	天然保護区域	松前町	S47.12.12
36	ヒメチャマダラセセリ	動物	主な生息地北海道	S50.2.13
37	エゾミカサリュウ化石	地質鉱物	三笠市	S52.7.16
38	標津湿原	天然保護区域	標津町	S54.8.7
39	焼尻の自然林	植物	羽幌町	S58.8.30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯	植物・地質鉱物	夕張市・南富良野町	H8.6.19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	植物・地質鉱物	足寄町	H12.9.6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町	函館市	H1.4.21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19.7.16 追加選定 H28.3.1

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、保護の対象として北海道教育委員会が指定した文化財です。

[有形文化財]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	考古資料	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	建造物	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	彫 刻	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	彫 刻	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	絵 画	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	建造物	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	建造物	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	建造物	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	建造物	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	建造物	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	建造物	森 町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	建造物	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	考古資料	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	歴史資料	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鎌遺跡出土の遺物	考古資料	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	考古資料	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	建造物	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	考古資料	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	考古資料	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	歴史資料	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	絵 画	函館市	S43. 3. 29
22	椴法華出土の尖底土器	考古資料	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	建造物	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	考古資料	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	工 芸	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	古 文 書	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	建造物	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	建造物	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5

33	美唄屯田兵屋	建造物	美唄市	S47.2.17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	考古資料	礼文町	S47.2.17
35	太田屯田兵屋	建造物	厚岸町	S49.2.28
36	天内山遺跡出土の遺物	考古資料	余市町	S51.5.21
37	円空作観音像	彫刻	釧路市	S52.3.11
38	円空作観音像	彫刻	広尾町	S52.3.11
39	円空作十一面観音立像	彫刻	上ノ国町	S52.3.11
40	円空作聖観音像	彫刻	伊達市	S52.3.11
41	松前屏風	絵画	松前町	S52.9.12
42	亦稚貝塚出土の遺物	考古資料	利尻町	S54.3.29
43	旧小納家住宅	建造物	羽幌町	S54.11.27
44	札幌市K-446遺跡出土の遺物	考古資料	札幌市	S55.8.12
45	南川遺跡出土の遺物	考古資料	せたな町	S56.3.31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	考古資料	枝幸町	S56.10.29
47	砂館神社本殿	建造物	上ノ国町	S60.3.30
48	薙刀銘堀井正次	工芸	松前町	S60.3.30
49	熊石の山海漁獵供養塔	建造物	八雲町	S60.3.30
50	不動明王立像	彫刻	松前町	S60.3.30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	建造物	函館市	S60.3.30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	建造物	函館市	S60.3.30
53	旧永山武四郎邸	建造物	札幌市	S62.11.27
54	木造阿弥陀如来立像	彫刻	松前町	S63.9.10
55	木造地藏菩薩立像	彫刻	八雲町	S63.9.10
56	幌加川遺跡出土の石器群	考古資料	遠軽町	H3.3.30
57	木造日蓮聖人坐像	彫刻	松前町	H4.3.31
58	法華寺寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4.3.31
59	正覚院寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4.3.31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	建造物	江差町	H4.3.31
61	入江馬頭観世音碑	歴史資料	洞爺湖町	H4.3.31
62	木造五百羅漢像	彫刻	小樽市	H6.2.9
63	奥行臼駅通	建造物	別海町	H6.6.3
64	滝里遺跡群出土遺物	考古資料	芦別市	H12.4.14
65	絵馬カムイノミの図	絵画	豊頃町	H13.3.30
66	光明寺寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13.3.30
67	泉龍院寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13.3.30
68	無量寺寛保津波の碑	歴史資料	八雲町	H13.3.30
69	宮歌村文書	古文書	福島町	H16.9.22

70	木造十一面観音立像	彫刻	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	考古資料	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	考古資料	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	歴史資料	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	歴史資料	江別市(北海道立図書館)	H22. 3. 16
75	大麻 3 遺跡出土の土偶	考古資料	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	考古資料	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周堤墓群出土品	考古資料	斜里町	H25. 3. 29
78	入江貝塚出土品	考古資料	洞爺湖町	H26. 3. 31
79	北海道家庭学校礼拝堂	建造物	遠軽町	H27. 3. 31
80	屯田兵絵物語 附 屯田絵巻	歴史資料	旭川市	H28. 3. 31
81	滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)	歴史資料	滝川市	H28. 3. 31
82	新琴似村屯田兵村記録	歴史資料	札幌市	H28. 3. 31
83	上ノ国八幡宮本殿	建造物	上ノ国町	H29. 3. 31
84	矢不来館跡出土品	考古資料	北斗市	H29. 3. 31
85	青苗遺跡出土品	考古資料	奥尻町	H29. 3. 31
86	巖島神社本殿	建造物	増毛町	H30. 3. 30
87	巖島神社奉納絵馬	絵画	増毛町	H30. 3. 30

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鯨様(妙亀・法鯨大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鯨様(龍神・妙亀菩薩・鯨神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓群 (H25. 3. 29「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家噴墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鋳炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡 岩内東山円筒文化遺跡（追加指定、一部解除）	岩内町 岩内町	S43. 3. 29 H29. 3. 31
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

[天然記念物]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	植 物	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	地質鉱物	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	植 物	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	植 物	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	植 物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	地質鉱物	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	植 物	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	植 物	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	動 物	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	植 物	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	天然保護区域	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球顆	地質鉱物	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	地質鉱物	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	地質鉱物	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	植 物	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	植 物	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	地質鉱物	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	地質鉱物	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	植 物	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	動 物	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	植 物	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮎生息地	動 物	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	地質鉱物	乙部町	S47. 4. 1
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	地質鉱物	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	地質鉱物	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	地質鉱物	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギウ化石標本	地質鉱物	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	植 物	礼文町	H 6. 6. 3
31	黄金水松	植 物	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝罅穴群	地質鉱物	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	植 物	別海町	H23. 3. 15
34	ホバツアラキリュウ化石	地質鉱物	むかわ町	H29. 9. 29

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定等文化財一覧

(平成30年5月1日現在)

管内	有形文化財		無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然 記念物	伝統的 建造物群 保存地区	計	
	建造物	美術 工芸品		有形	無形						
	件数	(棟数)									
空知	17	(18)	38	5	4	15	11	0	9	0	99
石狩	9	(9)	33	4	6	1	5	0	4	0	62
後志	13	(16)	27	1	0	11	26	2	10	0	90
胆振	9	(8)	42	5	11	9	24	1	19	0	120
日高	0	(0)	19	5	0	0	3	1	1	0	29
渡島	2	(2)	118	0	18	15	9	4	8	1	175
桧山	6	(9)	49	0	10	14	4	1	1	0	85
上川	23	(24)	1,218	6	8	8	16	0	20	0	1,299
留萌	3	(3)	9	4	2	4	43	0	1	0	66
宗谷	15	(15)	13	1	1	2	14	0	7	0	53
林-ツク	9	(9)	12	0	4	1	7	0	7	0	40
十勝	3	(3)	31	6	5	4	6	3	13	0	73
釧路	4	(4)	13	3	0	1	6	0	14	0	41
根室	12	(16)	20	1	1	1	7	0	22	0	64
合計	125	(136)	1,642	41	70	86	181	12	136	1	2,294

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H29shichousonbunkazai.pdf>

・函館市（渡島）が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)若しくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	26	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	3	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	21	1
桧山	1	0
上川	16	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
林-ツク	9	0
十勝	10	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	143	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財（建造物）もしくは記念物（名勝）のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録した文化財です。

〔登録有形文化財(建造物)〕

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
2	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
3	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
4	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
5	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
6	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
7	旧国鉄土幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
8	旧国鉄土幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄土幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄土幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
12	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
13	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
14	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
15	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
16	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
20	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28
21	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
22	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
23	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
24	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
25	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
26	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
27	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
28	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
32	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28

33	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
35	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
36	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
42	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
43	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
44	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
45	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
46	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
47	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
48	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
50	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
51	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥棟	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
59	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
60	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
61	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
62	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
63	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
64	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
65	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
66	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
67	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
68	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18

70	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
71	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
72	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
73	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
74	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
75	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
83	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
84	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
85	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
86	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
87	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
88	星槎大学（旧頼城小学校）校舎	芦別市	H20. 3. 7
89	星槎大学（旧頼城小学校）体育館	芦別市	H20. 3. 7
90	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
91	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
92	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
93	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
94	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
95	中標津町郷土館緑ヶ丘分館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
96	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
97	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
98	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10
99	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
100	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
101	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
102	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
103	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
104	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
105	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
106	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23

107	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
108	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
109	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
110	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
111	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
115	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
116	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
117	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
118	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
119	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
120	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
121	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
122	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13
123	旧岡田家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
124	旧岡田家住宅蔵	旭川市	H25. 6. 21
125	山崎家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
126	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市	H25. 6. 21
127	遠藤家住宅主屋	札幌市	H26. 10. 7
128	遠藤家住宅蔵	札幌市	H26. 10. 7
129	遠藤家住宅南石蔵	札幌市	H26. 10. 7
130	遠藤家住宅北石蔵	札幌市	H26. 10. 7
131	遠藤家住宅表門	札幌市	H26. 10. 7
132	遠藤家住宅塀	札幌市	H26. 10. 7
133	飯田家住宅座敷棟	日高町	H26. 12. 19
134	旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場）	旭川市	H27. 11. 17
135	旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）	旭川市	H27. 11. 17
136	北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）	旭川市	H27. 11. 17
137	飯田家住宅主屋	日高町	H27. 11. 17
138	旧藤澤家住宅主屋	函館市	H28. 11. 29
139	函館Y W C A会館	函館市	H28. 11. 29
140	宮本商産旧本社ビル	帯広市	H29. 9. 29
141	旧国鉄士幌線糠平橋梁	上士幌町	H29. 9. 29
142	旧国鉄士幌線三の沢橋梁	上士幌町	H29. 9. 29

143	旧国鉄士幌線幌加駅プラットホーム	上士幌町	H29. 9. 29
-----	------------------	------	------------

〔登録記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj. pref. hokkaido. lg. jp/hk/bnh/bun-hogo-rokuitiran. htm>

(7) 平成 29 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

No.	市町村名	事業名又は対象の文化財等
1	夕張市	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道の公開
2	上砂川町	上砂川町文化協会 芸能祭
3	由仁町	ゆめっく館 常設展示
4	新十津川町	<町指定有形文化財>絵馬（玉置神社奉祀之景）展示
5	雨竜町	<町指定民俗文化財>獅子神楽の公演
6	沼田町	本願寺駅通見学会
7	札幌市	<国指定重要文化財>旧札幌農学校演武場（時計台）の公開
8	札幌市	第 36 回時計台まつり記念演奏会
9	札幌市	<国指定重要文化財>豊平館の公開
10	札幌市	豊平館が育んだ札幌の音楽
11	札幌市	豊平館と晩秋の中島公園を探る
12	札幌市	探検Ⅱ 豊平館の小屋組と地下階
13	札幌市	<国指定重要文化財>八窓庵（旧舎那院忘筌）の公開（外観のみ）
14	札幌市	<国指定史跡>琴似屯田兵村兵屋跡の公開
15	札幌市	<市指定有形文化財>清華亭の公開
16	札幌市	<市指定有形文化財>旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）の公開
17	札幌市	<市指定有形文化財>新琴似屯田兵中隊本部の公開
18	札幌市	<市指定有形文化財及び史跡>札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡の公開
19	札幌市	<市指定史跡>手稲山口バッタ塚の公開
20	札幌市	<国登録有形文化財>札幌市資料館（旧札幌控訴院）の公開
21	札幌市	<国登録有形文化財>エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）の公開
22	札幌市	<国登録有形文化財>旧西岡水源池取水塔の公開（外観のみ）
23	江別市	常設展示（国指定重要文化財、道指定有形文化財、市指定有形文化財含む）
24	江別市	<道指定有形文化財>野幌屯田兵第二中隊本部の公開

25	千歳市	体験学習会「勾玉つくろう！」
26	千歳市	体験学習会「縄文クッキーをつくろう！」
27	千歳市	公開講座「青森県七戸町ニッ森貝塚について」
28	千歳市	展示会「二つの国指定遺跡と周辺の遺跡」
29	恵庭市	恵庭市郷土資料館 常設展示
30	恵庭市	特別公開 2017 道央の漆塗り櫛展
31	恵庭市	市内遺跡ミニ展示
32	恵庭市	カリンバ土曜講座 4 回目
33	北広島市	北広島を育んだ自然環境
34	北広島市	北海道のアンモナイト展
35	北広島市	北広島市エコミュージアムセンター
36	北広島市	旧島松駅通所
37	北広島市	旧島松駅通所ライトアップ ～秋編
38	石狩市	<国指定史跡>荘内藩ハママシケ陣屋跡公開
39	石狩市	はまます郷土資料館 常設展示 (<市指定有形文化財>旧白鳥家番屋)
40	石狩市	常設展示 (市指定文化財含む)
41	石狩市	<市指定有形文化財>旧長野商店公開
42	石狩市	テーマ展「土器文様の不思議-石狩市内の遺跡から-
43	石狩市	体験講座「縄文土器の文様を作ろう」
44	ニセコ町	文化財保護の啓発
45	寿都町	文化財展示事業
46	寿都町	ウィズコムカレッジ地域学コース「古文書を読もう！」
47	真狩村	文化財講座
48	積丹町	積丹町文化祭 (展示の部)
49	仁木町	広報紙への掲載 (町内全戸配付)
50	余市町	第 42 回特別展「今につながる余市の景色」
51	室蘭市	<市指定文化財>輪西屯田兵関係資料、仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾及び友情人形の公開
52	室蘭市	<市指定文化財>白鳥大橋海底部等出土の貝化石及び材化石の標本の公開
53	室蘭市	<市指定文化財>輪西屯田兵記念碑、旧火薬庫及び関係資料の公開
54	室蘭市	<国指定文化財>史跡東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡 (同台場・勤番所跡) の公開
55	室蘭市	<国指定文化財>名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸の公開

56	室蘭市	<国登録有形文化財>室蘭市旧室蘭駅舎の公開
57	登別市	登別市郷土資料館 常設展示
58	登別市	特別展「石碑が語る地域の歴史」
59	登別市	常設展示（「土地の記憶たち」）
60	豊浦町	秋の礼文華山道と豊浦の文化財を訪ねて
61	洞爺湖町	縄文ロビー講座 2017
62	壮瞥町	<町指定無形文化財>久保内獅子舞の公演
63	壮瞥町	<町指定無形文化財>仲洞爺獅子舞の公演
64	厚真町	遺跡発掘写真展 ～15年間の発掘現場の人々～
65	厚真町	地層標本とパネルの公開展示「東日本大震災の厚真川遡上の津波と地層から分かる 400年前の大津波」
66	厚真町	常設展示 触って体感、バックヤードツアー
67	むかわ町	郷土資料保管庫見学会（鶴川地区総合文化祭展示部門）
68	平取町	<道指定有形文化財>二風谷遺跡群出土品の展示
69	平取町	沙流川歴史館特別展「クマの意匠展」
70	平取町	沙流川歴史館講座「北海道土産としての木彫り熊 ―その発祥と展開―」
71	新ひだか町	第3回新ひだか町博物館特別展「日高本線全線開通 80周年記念 日高の鉄道」
72	新ひだか町	<道指定有形文化財>静内御殿山墳墓群出土の遺物の公開
73	新ひだか町	<町指定有形文化財>静内中野式土器の公開
74	新ひだか町	<国指定重要無形民俗文化財>「アイヌ古式舞踊の映像展示」
75	新ひだか町	<町指定無形文化財>淡路豊年柵踊りの映像展示
76	新ひだか町	<町指定無形文化財>歌笛越前踊りの映像展示
77	新ひだか町	<町指定有形文化財>エゾオオカミの頭蓋骨の公開
78	新ひだか町	<国指定史跡>シベチャリ川流域チャシ跡群及びアッペツチャシ跡のうち、シベチャリ川流域チャシ跡群の公開
79	新ひだか町	<道指定史跡>静内御殿山墳墓群の公開
80	新ひだか町	<町指定名勝>蓬萊山の公開
81	様似町	特別展「様似のむかしむかし展-遺跡から見る様似の歴史-」
82	様似町	遺跡セミナー「年代学からわかる縄文時代の植物利用」
83	様似町	遺跡まつり
84	えりも町	猿留山道を歩く会 2017
85	函館市	ミュージアム・トーク「みんなのお宝、分析・保存・活用術―文化財最前線を探る―」
86	函館市	<国指定重要文化財>旧函館区公会堂の公開

87	函館市	函館市旧イギリス領事館（常設展示）
88	函館市	文化の日企画「西部文化施設3館ツアー」
89	函館市	企画コーナー収蔵資料展「佐藤国男と岡村昭彦」
90	函館市	石川啄木直筆資料展「明治41年5月の書簡」
91	函館市	体験！日本画教室
92	函館市	やさしく学ぶアイヌ語講座 基本編／やさしく学ぶアイヌ語講座 応用編
93	函館市	平成29年度 企画展「新収蔵資料展」
94	函館市	市立函館博物館 本館 祝日開館
95	函館市	市立函館博物館郷土資料館「旧金森洋物店」（常設展示）
96	函館市	市立函館博物館 郷土資料館 祝日開館
97	函館市	市立函館博物館 郷土資料館 祝日開館
98	函館市	縄文体験講座「植物の繊維利用」（全3回）①縄文の糸づくり②縄文の布づくり③繊維製品の草木染め
99	函館市	<国宝>「中空土偶」（常設展示）
100	松前町	<町指定有形文化財>アイヌ民族関係資料
101	松前町	<町指定有形文化財>斎藤流松前家資料
102	松前町	<町指定有形文化財>松前家 伝 銅雀台瓦硯
103	松前町	<道指定有形文化財>松前屏風
104	松前町	<町指定有形文化財>松本家資料
105	松前町	ミニ企画展 道南の海揚がり遺物～Under the sea of South Hokkaido～
106	松前町	<道指定有形文化財>求福山山車の人形 その他附属品
107	松前町	<道指定有形文化財>薙刀 名 堀井正次
108	福島町	埋蔵文化財一般公開
109	福島町	<町指定文化財>円空仏（レプリカ）一般公開（福島町青函トンネル記念館）
110	福島町	<町指定文化財>円空仏（レプリカ）一般公開（福島町役場）
111	知内町	郷土資料館通常展示
112	北斗市	<市指定有形文化財>鶴山道石版画等の展示公開
113	北斗市	<市指定有形文化財>越前播り鉢の展示公開
114	北斗市	特別展「道指定・北斗市指定文化財展」
115	北斗市	北斗市郷土資料館祭り（勾玉作り等）
116	七飯町	<町指定文化財>迫田家文書
117	七飯町	<町指定文化財>飯田甚兵衛の地蔵

118	森町	町内埋蔵文化財の常設展示
119	八雲町	企画展 重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」展
120	長万部町	埋蔵文化財展示コーナー
121	江差町	<国指定重要文化財>「旧中村家住宅」の公開
122	江差町	<道指定有形文化財>「旧檜山爾志郡役所」の公開
123	上ノ国町	<国指定重要文化財>旧笹浪家住宅の公開
124	上ノ国町	<国指定史跡>勝山館跡ガイダンス施設の公開
125	上ノ国町	上之国館調査整備センター収蔵品の公開・展示
126	上ノ国町	<国指定重要文化財>上ノ国勝山館跡出土物展示事業
127	上ノ国町	<町指定無形文化財>「上ノ国昔踊り」の公開（郷土芸能発表会）
128	厚沢部町	厚沢部町郷土資料館特別開館
129	せたな町	平成 29 年度特別展「せたな発掘ものがたり～豊岡 6 遺跡編～」
130	せたな町	<町指定有形文化財>明珍信家製作の筋兜
131	せたな町	<町指定有形文化財>青い目の人形
132	せたな町	<町指定有形文化財>阿波人形浄瑠璃
133	奥尻町	稲穂ふれあい研修センター歴史民俗資料展示室開館事業
134	奥尻町	奥尻島津波館開館事業
135	今金町	<国指定有形文化財>史跡ピリカ遺跡出土石器の一般公開
136	今金町	<町指定民俗文化財>上田式豆まき器の一般公開
137	旭川市	<市指定文化財>上川郡農作試験所事務所棟（忠別太駅通第一美英舎）
138	旭川市	<市指定文化財>養蚕民家
139	旭川市	<市指定文化財>旧神居古潭駅舎
140	旭川市	<道指定文化財>屯田兵絵物語 附 屯田絵巻」展示 <市指定文化財>「旭川兵村中隊記録」展示
141	旭川市	第七師団関係記録
142	旭川市	博物館無料開放 アイヌ文化に親しむ日
143	士別市	常設展示 2 「先史の世界」
144	士別市	常設展示 2 「北海道開拓の夜明け」
145	士別市	常設展示 2 「大正期の庶民生活」
146	士別市	常設展示 2 「士別の産業」
147	富良野市	富良野市博物館常設展示
148	富良野市	リーフレットの配布による PR

149	鷹栖町	郷土資料の展示
150	東神楽町	東神楽町郷土資料展示会
151	美瑛町	<町指定文化財>「高橋北修筆（絵画）」常設展示
152	上富良野町	<町有形文化財/建造物>東中尋常高等小学校御神影奉置所
153	上富良野町	<史跡>憩の楡跡の碑
154	上富良野町	<史跡>富原地区の地神及び山の神
155	中富良野町	中富良野町郷土館
156	占冠町	占冠村総合文化祭
157	下川町	ふるさと交流館 常設展示
158	下川町	郷土資料展示保存施設 常設展示
159	小平町	おびらふるさと塾 つちのなかに埋もれた人々のくらし 福士廣志氏（留萌市教育委員会）
160	小平町	おびらふるさと塾 文化財建造物の中の旧花田家番屋 駒木 定正氏（北海道職業能力開発大学校特別顧問）
161	苫前町	<町指定有形文化財>須恵器（甕）・修羅
162	苫前町	<町指定無形民族文化財>苫前町くま獅子舞の公演
163	羽幌町	<町指定無形文化財>オロロン太鼓等の発表会
164	天塩町	第3回てしお塾
165	浜頓別町	ブタウス遺跡発掘調査展示（常設展示）
166	浜頓別町	日の出遺跡（浜頓別町クッチャロ湖畔竪穴群）展
167	枝幸町	地域の埋蔵文化財公開事業
168	礼文町	<国指定重要文化財>北海道船泊遺跡出土品展示公開事業
169	礼文町	<道指定有形文化財>礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像展示公開事業
170	礼文町	<町指定有形文化財>上泊3遺跡出土遺物展示公開事業
171	礼文町	<町指定無形民俗文化財>四ヶ散米舞行列映像公開事業
172	礼文町	礼文島遺産公開事業
173	礼文町	縄文八十八箇所めぐりスタンプラリー
174	網走市	<国指定史跡>モヨロ貝塚出土資料の特別展示（市内宿泊施設）
175	網走市	<国指定史跡>モヨロ貝塚出土資料の特別展示（女満別空港）
176	網走市	<国指定史跡>モヨロ貝塚出土資料の特別展示（網走市役所）
177	網走市	<国指定史跡>モヨロ貝塚出土資料の常設展示（モヨロ貝塚館）
178	網走市	<国指定史跡>モヨロ貝塚出土資料の常設展示（網走市立郷土資料館）
179	北見市	北網圏北見文化センター 博物展示

180	北見市	美里洞窟遺跡公開
181	北見市	<市指定有形文化財>武華駅通公開
182	北見市	端野町歴史民俗資料の展示
183	北見市	常呂遺跡等から出土した考古資料の展示
184	北見市	考古資料収蔵庫の見学及び展示
185	北見市	<市指定有形文化財>ピアソン記念館公開
186	北見市	<市指定有形文化財>ハッカ記念館公開
187	北見市	北見薄荷蒸溜館公開
188	紋別市	<国登録有形文化財>旧上藻別駅通所の公開
189	紋別市	<道指定文化財>オムサロ遺跡公園（史跡オムサロ台地堅穴群）の公開
190	紋別市	<市指定文化財>天然記念物小向原生花園の公開
191	美幌町	美幌博物館常設展示
192	美幌町	美幌博物館開館記念週間
193	美幌町	美幌博物館講座（歴史編）歩いて発見！ぶら博物館
194	美幌町	美幌博物館ロビー展野崎政長戸長役場
195	津別町	津別町郷土資料室 郷土資料の展示
196	訓子府町	くんねっぶ歴史館 常設展示
197	湧別町	湧別町ふるさと館 JRY 上湧別地区文化財常設展示
198	湧別町	特別展示「湧別屯田入植 120 周年 収蔵資料展」
199	湧別町	湧別町ふるさと館 JRY 湧別地区文化財常設展示
200	湧別町	博物館だよりの発行
201	帯広市	帯広百年記念館常設展示
202	帯広市	ぶらり帯広文化財めぐり
203	帯広市	<市指定文化財>十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号公開
204	鹿追町	鹿追町郷土資料品の通年公開・常設展示
205	芽室町	芽室町ふるさと歴史館常設展示
206	中札内村	絵画コレクション展示
207	中札内村	第 6 2 回中札内村民文化祭
208	中札内村	からまつ館見学
209	大樹町	大樹町文化祭
210	大樹町	晩成社史跡公園の公開
211	大樹町	旭浜トーチカの公開

212	大樹町	大樹町郷土資料館の公開
213	大樹町	〈北海道指定史跡〉十勝ホロカヤントー堅穴群の公開
214	豊頃町	郷土資料情報室「歴史の森」常設展
215	本別町	本別町指定文化財パネル展
216	陸別町	〈国指定史跡〉ユクエピラチャシ跡展
217	釧路市	マリモ発見命名 120 周年記念阿寒湖国際シンポジウム ーマリモの発見命名者・川上瀧彌の業績と今日的意義ー
218	釧路市	マリモ発見命名 120 周年記念 マリモ生育地観察会
219	釧路町	第 16 回釧路町文化フェスティバル
220	釧路町	釧路町郷土資料館開設及び郷土資料展
221	釧路町	チャシ跡出土品展示
222	厚岸町	古文書教室
223	厚岸町	勾玉づくり教室
224	厚岸町	〈町指定有形文化財〉池田家古文書公開展示
225	厚岸町	〈町指定有形文化財〉太田屯田兵遺品展示
226	弟子屈町	アイヌ民族衣装試着体験
227	根室市	〈道指定有形文化財〉和田屯田兵村の被服庫の公開
228	別海町	奥行臼散策デー
229	別海町	〈町指定文化財〉奥行臼駅の公開
230	別海町	〈町指定文化財〉旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開
231	別海町	〈町指定文化財〉加賀家文書の公開
232	別海町	〈町指定文化財〉野付半島沖マンモスゾウ化石群の公開
233	中標津町	〈国登録有形文化財〉旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開
234	標津町	町指定文化財の公開
235	標津町	国指定文化財の公開
236	羅臼町	〈町指定有形文化財〉弘化の釣り鐘展示
237	羅臼町	〈国指定重要文化財〉北海道松法川北岸遺跡出土品展示
238	羅臼町	〈町指定無形文化財〉知床いぶき樽
239	羅臼町	アイヌ文化巡回展 2017 羅臼 アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から～

・平成 29 年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

(8) 平成 29 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 37 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝・文 化的景観	天然記念物	伝統的建造 物保存地区	国指定・選 定文化財計	埋蔵文化財 包蔵地
パトロール 対象件数	58	52	13	47	1	171	12,209
パトロール 実施回数	54	66	14	42	1	177	248

(9) 平成 29 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

[国指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	9	0	40	49
北海道教育委員会	2	0	20	22
市町教育委員会	8	1	18	27

[道指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	1	4	18	23

(10) 平成 29 年度銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲や美術品として価値のある刀剣類について、新規の登録や所有者変更等の事務を行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
89	24	708	36	12	869

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覽

空	岩見沢市	54	後志	ニセコ町	196	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8	十勝	雄武町	50			
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	62		(上川計)	1,073		(林-ツ計)	2,271			
	美瑛市	6		留寿都村	7		北斗市	108	留萌市	28	帯広市		62				
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	73	増毛町	16	音更町		106				
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6	小平町	19	士幌町		40				
	三笠市	12		俱知安町	21		森町	52	苫前町	16	上士幌町		74				
	滝川市	10		共和町	31		八雲町	99	羽幌町	32	鹿追町		51				
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	50	初山別村	7	新得町		31				
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	961	遠別町	5	清水町		37				
	深川市	79		神恵内村	10		江差町	65	天塩町	43	(留萌計)		166	芽室町	65		
	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90	稚内市	140	中札内村		5	更別村	16		
	奈井江町	22		古平町	11		厚沢部町	54	猿払村	18	大樹町		33	広尾町	21		
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111	浜頓別町	20	幕別町		132	池田町	58		
	由仁町	37		余市町	64		せたな町	70	中頓別町	8	枝幸町		71	豊富町	52		
	長沼町	63		赤井川村	67		奥尻町	32	豊富町	16	礼文町		55	本別町	99		
	栗山町	37		(後志計)	807		今金町	59	利尻町	11	利尻富士町		20	幌延町	20	(十勝計)	1,109
	月形町	8		室蘭市	37		(檜山計)	481	旭川市	216	網走市		168	北見市	480	釧路市	137
	浦臼町	48		苫小牧市	286		旭川市	216	士別市	47	紋別市		68	大空町	65	釧路町	76
	新十津川	15		登別市	33		士別市	47	名寄市	150	美幌町		134	津別町	64	厚岸町	90
妹背牛町	4	伊達市	90	名寄市	150	富良野市	141	斜里町	379	清里町	35	浜中町	121				
秩父別町	8	豊浦町	20	富良野市	141	鷹栖町	28	小清水町	42	訓子府町	267	標茶町	208				
雨竜町	5	洞爺湖町	15	鷹栖町	28	東神楽町	25	置戸町	105	佐呂間町	38	弟子屈町	50				
北竜町	10	壮瞥町	1	東神楽町	25	当麻町	18	清里町	35	遠軽町	221	鶴居村	73				
沼田町	6	白老町	45	当麻町	18	比布町	22	小清水町	42	湧別町	56	白糠町	31				
(空知計)	565	安平町	81	比布町	22	愛別町	23	(宗谷計)	379	滝上町	46	(釧路計)	786				
石狩	札幌市	541	日高	厚真町	141	愛別町	23	オホshima	網走市	168	釧路	釧路市	137				
	江別市	142		むかわ町	106	上川町	23		北見市	480		紋別市	68	厚岸町	90		
	千歳市	295		(胆振計)	855	東川町	23		大空町	65		美幌町	134	浜中町	121		
	恵庭市	132		日高町	132	美瑛町	43		斜里町	379		津別町	64	標茶町	208		
	北広島市	59		平取町	127	上富良野町	37		清里町	35		斜里町	379	弟子屈町	50		
	石狩市	220		新冠町	43	中富良野町	35		小清水町	42		美幌町	134	鶴居村	73		
	当別町	18		新ひだか町	153	南富良野町	25		訓子府町	267		津別町	64	白糠町	31		
	新篠津村	2		浦河町	58	占冠村	11		置戸町	105		斜里町	379	(釧路計)	786		
	(石狩計)	1,409		様似町	29	和寒町	36		佐呂間町	38		清里町	35	根室市	308		
	後志	小樽市		102	渡島	えりも町	67		剣淵町	30		オホshima	網走市	168	根室	別海町	88
島牧村		24	(日高計)	609		下川町	70	北見市	480	遠軽町	221		標津町	191			
寿都町		43	函館市	324		美深町	42	小清水町	42	湧別町	56		羅臼町	84			
黒松内町		51	松前町	122		音威子府村	10	訓子府町	267	滝上町	46		(根室計)	738			
蘭越町		48	福島町	33		中川町	10	和寒町	36	興部町	39		計 12,209				
											(前年比 23 箇所増)						

・ 詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」を御覧ください。→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 29 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積 (ha)
埋蔵文化財保護のための事前協議	583	
平成 29 年度北海道実施の所在調査	105	12,300.545
平成 29 年度北海道実施の試掘調査	33	158.225

(3) 平成 29 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査		管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)		件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
空知	9	2198.783	2	35.930	上川	8	930.027	1	0.500
石狩	9	40.806	4	20.858	留萌	6	273.903	1	2.103
後志	16	854.993	8	35.175	宗谷	3	367.850	2	0.550
胆振	14	47.441	2	2.947	ホーツク	11	2976.271	1	2.800
日高	2	61.273	1	0.093	十勝	16	3424.393	5	21.496
渡島	6	535.509	4	10.862	釧路	3	538.005	1	24.886
檜山	1	51.260	0	0	根室	1	0.031	1	0.025

(4) 平成 29 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	面積 (㎡)	管内	件数	面積 (㎡)
空知	0	0	上川	1	700
石狩	12	13,503	留萌	0	0
後志	2	59	宗谷	3	57
胆振	18	10,294	ホーツク	10	807
日高	0	0	十勝	2	116
渡島	11	13,045	釧路	0	0
檜山	0	0	根室	7	4,576
			合計	66	43,157

・平成 29 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h29gaiyou.htm>

(5) 平成 29 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	7	17	5	0	29
法第 94 条	0	21	53	18	17	109

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 平成 29 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	1	0	0	0	1
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 平成 29 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	55	2	57	2,780
政令市・中核市	3	6	9	210

(8) 平成 29 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	27	103	8,116

※ 箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画）（改定版平成 25 年 3 月）

基本目標 5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向 1 1 文化・芸術活動の推進

施策項目 3 6 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財[®]が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するためには欠かせないものであり、道民の共有財産です。これらの文化財は過疎化や少子高齢化など時代の推移により、保存や伝承が困難となっているものもあることから、次の世代に確実に守り伝えていくことが重要な課題です。

このような中、文化財の保存・活用や、アイヌ民俗文化財[®]の調査・保存・伝承活動、世界遺産[®]登録へ向けた北東北3県と連携した取組などの推進を図ってきました。

このうち、「世界遺産登録へ向けた取組」では、内浦湾沿岸の縄文遺跡群が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、ユネスコの世界遺産暫定リスト[®]に記載されたところであり、今後は、関係自治体と連携し、推薦書案の作成や国際会議を実施するなど、登録に向けた取組を積極的に推進していく必要があります。

先人が大切に守り継いできた貴重な文化財の数々を次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責任であり、今後とも、多くの人々が文化財の素晴らしさを知り、保護の大切さを学び、共通理解のもと、将来にわたって継承していく環境の整備に努めていく必要があります。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を着実に推進します。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に取り組みます。

● 施策の対応方向及び主な取組

施策の対応方向	主な取組
■ 文化財の調査・保存・活用の推進 ① 有形・無形の文化財、史跡 [®] ・名勝 [®] ・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未指定文化財の調査 ・ 文化財の指定・登録の推進 ・ 文化財の現状把握 ・ 文化財の保存整備
■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ① アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイヌ民俗文化財調査や翻訳の推進 ・ 伝承者の養成や地域住民の理解促進のための講座の実施
■ 世界遺産登録へ向けた取組の推進 ① 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模竪穴住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産 [®] への登録へ向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4道県（北海道・青森・秋田・岩手）共同での国際的合意形成に向けた国際会議の開催
■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ① 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道文化財保護強講月間[®]における文化財公開等の促進 ・ 小・中学生向けのニュースレターの発行

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H 2 3 312件	H 2 9 330件
文化財の保存・活用への取組状況	北海道文化財保護強講月間(10月8日～11月7日)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	H 2 4 33.1%	H 2 9 50%
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H 2 3 2,434人	H 2 9 2,500人

(2) 平成 29 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。

この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ

直通電話：(011)204-5749 FAX：(011) 232-1076

平成 29 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時間	場所	審議内容
平成 29 年 9 月 19 日(火)	14:00 ～16:30	北海道庁別館 8 階 1 号会議室	・文化財の指定(登録)の状況について ・道指定文化財の指定に向けた取組について ・道指定文化財の諮問に対する答申について
平成 30 年 3 月 15 日(木)	14:00 ～16:30	道庁赤れんが庁 舎 2 階 2 号会議 室	・文化財の指定(登録)の状況について ・平成 30 年度文化財保護関係事業の概要について ・道指定文化財の指定に向けた取組について ・道指定文化財の諮問に対する答申について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

[任期：平成 28 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日]

氏名	所属等
乾 淑 子	東海大学教授
児 島 恭 子	札幌学院大学教授
白 杵 勲	札幌学院大学教授
大 原 雅	北海道大学大学院教授
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
鈴 木 幸 人	北海道大学大学院准教授
小 杉 康	北海道大学大学院教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校特任教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
中 村 和 之	函館工業高等専門学校教授
白 木 彩 子	東京農業大学生物産業学部准教授
角 美 弥 子	北海道教育大学岩見沢校准教授
角 南 国 隆	北海道開発局開発監理部長
中 村 毅	北海道森林管理局計画保全部長

・北海道文化財保護審議会について→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 29 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 29 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 29 年 6 月 16 日(金)	10:00~15:00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 29 年 8 月 25 日(金)	10:00~15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室 (旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 29 年 11 月 24 日(金)	10:00~15:00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 30 年 2 月 16 日(金)	10:00~15:00	道庁別館西棟 3 階 1 号会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員

[任期：平成 28 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日]

銃砲刀剣類登録審査委員	審 査 会 場
梶 睦	札幌(6 月、11 月)
川 合 喜與文	札幌(6 月、2 月)
堀 井 重 克	札幌(11 月、2 月)
眞 保 延 夫	札幌(6 月、2 月)、旭川(8 月)
石 井 利 明	旭川(8 月)、札幌(11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成 29 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	1143	1405	1555	1165	1511	1113	819	748	433	683	466	843	11,884

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成 29 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5	4	7	3	2	6	4	7	5	4	6	14	67

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 28 年度発掘調査報告会	平成 29 年 4 月 15 日	75 人
	春季講演会	平成 29 年 5 月 20 日	161 人
	秋季講演会	平成 29 年 9 月 30 日	133 人
考古学 講座	考古学を知る・学ぶ 2	平成 29 年 7 月 22 日	94 人
	考古学を知る・学ぶ 4	平成 29 年 10 月 28 日	18 人

考古学 講座	考古学を知る・学ぶ 5	平成 29 年 11 月 25 日	70 人
	考古学を知る・学ぶ 6	平成 30 年 1 月 20 日	100 人
	考古学を知る・学ぶ 7	平成 30 年 3 月 17 日	135 人
体験型 講座	親子ガラス玉づくり教室	平成 29 年 6 月 3 日	15 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 1 次	平成 29 年 7 月 29 日	5 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 2 次	平成 29 年 8 月 5 日	17 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 3 次	平成 30 年 1 月 6 日	28 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 4 次	平成 30 年 1 月 13 日	10 人
研修会	平成 29 年度埋蔵文化財担当職員出前研修会	平成 29 年 8 月 31 日	11 人
	平成 29 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 29 年 12 月 8・9 日	23 人

④ 平成 29 年度テーマ展日程

展 示 名		展 示 期 間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 28 年度発掘調査成果展	平成 29 年 4 月 1 日～5 月 28 日
2	「北の縄文－縄文耳飾りの世界－」展	平成 29 年 7 月 8 日～10 月 1 日
3	北海道遺跡百選 10 「シブノツナイと北の古代」展	平成 29 年 12 月 2 日～30 年 2 月 25 日
4	世界遺産をめざす北の縄文展	通 年

⑤ 平成 29 年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
豊頃町	豊頃町える夢館	平成 29 年 6 月 17 日	15 名
福島町	福島町吉岡総合センター	平成 29 年 6 月 17 日	16 名
上川町	上川町郷土資料館	平成 29 年 7 月 30 日	13 名
蘭越町	蘭越町ふるさとの丘リンリン公園・蘭 越町民センターらぶちゃんホール	平成 29 年 8 月 1・2 日	35 名
苫前町	苫前町郷土資料館	平成 29 年 8 月 8 日	20 名
大樹町	大樹町生涯学習センター	平成 29 年 8 月 2 日	22 名
東神楽町	東神楽町総合福祉会館	平成 29 年 9 月 9 日	33 名
美唄町	ピパオイの里プラザ	平成 30 年 1 月 10 日	30 名

(7) 平成 29 年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会

北海道教育委員会では、北海道東部に所在する竪穴群に関する基礎的な情報や現状の把握を目的として、平成 27 年度から 29 年度まで「北海道東部の竪穴住居跡群調査 第 1 次調査」を実施しており、平成 28 年度からは、竪穴群調査の適切な実

施や竪穴群の保存活用の推進を目的として、有識者や竪穴群調査の関係者が意見交換を行う「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」を開催しています。

有識者は、竪穴群の研究・調査経験を有する3名で構成され、懇談会の都度、文化財・博物館課長が会議への出席を依頼します。

懇談会の会議の傍聴については、事前に電話で申し込むか、当日、懇談会の開催予定時刻までに受付で氏名、住所を記入し、座長の許可を受けると傍聴することができます（先着順、10名以内）。

申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財調査グループ
直通電話：(011)204-5750 FAX：(011)232-1076

平成29年度は、次のとおり開催しました。

開催年月日	時間	場所	意見交換の内容
平成29年7月25日(火)	9:20～11:30	北海道庁別館西棟 3階会議室1	・29年度の竪穴群調査について ・斜里町の竪穴群調査について
平成29年10月12日(火)	9:30～11:30	北海道庁別館8階 教育庁1号会議室	・竪穴群データベースについて ・湧別町シブノツナイ竪穴住居跡(道指定史跡)の調査成果について
平成30年2月28日(水)	9:30～11:30	北海道庁別館西棟 3階会議室1	・竪穴群データベースの成果について ・竪穴群調査第2次調査計画について

(8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧

氏名	所属等
熊木俊朗	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
天野哲也	北海道大学総合博物館研究員
澤井玄	北海学園大学非常勤講師

- ・北海道東部の竪穴住居跡群調査 第1次調査について

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/chousa-daiichiji.htm>

(9) 文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主な内容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を 見ることのできる 主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニューズレター形式で分かりやすく解説したものです。年 5 回程度発行しています。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 28 年度北海道文化財年報	平成 29 年 10 月 5 日	平成 28 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H28nenpou.pdf
平成 29 年度文化財保護強調月間	平成 29 年 10 月 7 日	北海道文化財強調月間（10 月 8 日～11 月 7 日）期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要（平成 29 年度版）	平成 30 年 3 月 14 日～	平成 29 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h29gaiyou.htm
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
		URL : https://jomon-japan.jp/
北海道の竪穴群	平成 28 年 10 月 11 日～ (随時更新)	「北海道東部の竪穴住居跡群調査」・「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」の内容や竪穴群に関する説明資料・海外の文献等を公開しています。
		URL : http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/portal.htm

(10) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部文化局文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	一般財団法人北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/